

離島巡回歯科診療同行実習レポート（9/10～9/12:諏訪之瀬島）

歯学部5年 4308100311

西井恒雄

残暑続く9月中旬、私は2泊3日の予定で諏訪之瀬島への巡回歯科診療に同行させていただきました。諏訪之瀬島は屋久島と奄美大島に挟まれた南北160キロに並ぶトカラ列島のうちの2番目に大きな島です。島の中心には御岳火山があり現在でも噴煙をあげています。その様な無垢で美しい自然の中に50人程の方が暮らしています。

1日目は船中泊となりました。およそ10時間の船旅となりましたが、それ程船は揺れることはなくて、明日の離島実習に備えて十分に睡眠を取ることができました。

2日目は島に着いてすぐに診療の準備に取り掛かりました。診療は鹿児島県歯科医師会が所有する歯科巡回診療車（こじか号）と公民館の2か所で行われました。歯科巡回診療車（こじか号）は初めて拝見いたしました。全くと言って良いほど診療体制が整っています。一方、公民館の方では主に検診や義歯の調整を主に行うために、歯科衛生士さんを中心にチェアー、エンジン、ライト等を準備致しました。診察が始まり、先生方の限られた時間の中でも最大限患者様の主訴を解決しようとする姿と、歯科衛生士の方の手際のよい行動がとても印象に残りました。

18時に診療が終わり、その後19時より公民館で、歯に関する講和が行われました。夕餉の時間にも関わらずたくさんの島民の方に来ていただきました。特に、昼間の治療や検診で疲れているにもかかわらず、平島小中学校諏訪之瀬島分校の生徒の方々や引率の先生にも来ていただきました。島民の方々と談笑も出来、とても楽しい時間を過ごしました。

その後、宿では降り注ぐような満天の星空のもとでバーベキューをいただきました。先生方と色々なお話ができ、とても充実した1日を過ごしました。

3日目はフェリーの出港前の時間を利用して島内を観光して、改めて諏訪之瀬島の美しさを実感いたしました。フェリーの出港時には多くの島民の方々がわざわざ見送りに来ていただきました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。また、今回の離島実習で同行させていただいた先生方、歯科衛生士の方、そしてコーディネーターの方にお礼を申



し上げます。将来、歯科医療に携わるべく歯学部に進学できたことを改めてうれしく思いました。2泊3日の短い巡回歯科診療の同行でしたが、充実した時間を過ごせました。